

東京家政学院 平成28年度決算概要について

本学院の財務状況について、資金収支計算書、事業活動収支計算書および貸借対照表により報告します。

会計処理および財務諸表の作成について、学校法人会計基準の一部を改正する文部科学省令が公布され、大学法人に関しては、平成27年度以降の会計処理から適用されることになりました。財務開示の財務諸表はこの改正に基づき会計処理をし、作成したところです。

1. 資金収支計算書

資金収支計算書は、当該会計年度に行った、諸活動に対応する全ての収入支出の内容と当該年度に係る支払資金の収入と支出の顛末を明らかにする計算書です。活動区分資金収支計算書が付加されました。

当年度の収入合計額は46億6,375万円、支出合計額46億8,419万円となっています。その結果、収入から支出を差引いた9億4,621万円が翌年度繰越支払資金となり、前年度に比べ2,044万円の減少となりました。

2. 事業活動収支計算書

事業活動収支計算書は、当該会計年度の事業活動の収入と支出の内容を明らかにし、さらに、両者の均衡状態(基本金組入前・後)を明らかにする計算書です。経営状態を表し、事業活動を3区分にして表示します。企業会計の損益計算書に類似した計算書です。資産借入返済、積立金など資本的支出に充てる額を除いた支出を計上します。

学校法人の健全な運営に資するため、収入と支出の均衡だけでなく、資金の増減を伴わない現物寄付、引当金繰入額や減価償却費なども含めた事業活動収支の状況について把握することを目的としています。

事業活動収入 39 億 6,390 万円と事業活動支出 44 億 2,048 万円の結果、収支差額は、4 億 5,658 万円の支出超過(減価償却額を含む)となりました。経常収支差額は4億7,761万円の支出超過、そのうち教育活動収支差額は6億8,803万円の支出超過、教育活動外収支差額は2億1,041万円の収入超過となっています。臨時的な収支である特別収支差額は2,103万円の収入超過となっています。

3. 貸借対照表

貸借対照表は、年度末における資産、負債、正味財産(基本金、事業活動収支差額)を把握し、学校法人の財産状態を表します。新科目「純資産の部」が付加されました。

平成28年度末の本法人の資産総額は、147億9,151万円で、負債総額は、20億5,317万円となっています。基本金は、第1号基本金で5,782万円の取崩し、第4号基本金1億300万円の取崩しを行った結果、281億3,819万円となりました。

繰越収支差額と基本金を合算した純資産の額は、127億3,833万円となりました。